

## 交流の証 淡く輝く

道の駅甘楽では、印象的な空間づくりと空きボトルの有効活用を図るため、フードコート内の照明の一部をワインボトルで作った間接照明に改良しました。

現在、姉妹都市であるイタリアのチェルタルド市からワインなどを直輸入していますが、照明に使用しているボトルは全て道の駅甘楽で扱っている直輸入のワインのものです。

照明の改良にあたっては、道の駅甘楽や甘楽ふるさと館などから出た空きボトルを集め、ほぼ全種類のボトルを照明に使用しています。

このワインボトルは、ライトに照らされて淡い黄色や緑色に輝き、姉妹都市交流の証として、来訪者を柔らかい光でやさしく包んでいます。



